

会 議 録 要 旨

会 議 名	令和5年度 第3回 大垣市介護保険運営協議会
場 所	大垣市役所 4階 情報会議室
日 時	令和5年11月1日 15:30～16:30
出 席 者	委員 13名 (別紙に記載) (事務局) 健康福祉部長 介護保険課：課長、主幹3名、主査1名 高齢福祉課：課長、主幹5名 保健センター：所長、主幹1名
司 会	皆さんこんにちは。本日は大変お忙しい中、令和5年度大垣市介護保険運営協議会の第3回会議にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。私は本日の司会を務めさせていただきます、介護保険課長の冨永でございます。よろしくお願いいたします。 それでははじめに、沼口会長様よりごあいさつをお願いいたします。
会 長	《挨拶》
司 会	ありがとうございました。本日の会議には、飯尾委員様、大石委員様から、ご欠席の連絡をいただいておりますのでご報告いたします。 次に次第の3、「議題」に移らせていただきます。これよりの進行につきましては沼口会長をお願いいたします。
会 長	議事に入ります前に、本日の会議につきましては個人情報など非公開とする案件に該当するような事案がないことから、会議は公開とさせていただきます。 本日は傍聴人の方がお1人いらっしゃいます。中にお入りください。 それではこれより議事に入ります。はじめに議題の(1)、大垣市高齢者福祉計画(第9期介護保険事業計画)の策定について、事務局から説明をお願いいたします。
事 務 局	《大垣市高齢者福祉計画(第9期介護保険事業計画)(素案)により説明》
会 長	ただいま、資料のご説明をいただきましたが、これにつきまして、ご意見やご質問があればお願いいたします。
委 員	前回の意見を反映していただき、わかりやすい計画になったと感じます。

## 会議録要旨

51 ページのサービス付き高齢者向け住宅が近年多く見られますが、今後の見通しがこの計画の中には記載されていません。

関連する部分として、おそらく 76 ページの、短期入所生活介護の利用が減ってきている点に表れていると思います。

両者の関係性と、サービス付き高齢者向け住宅の記載について教えていただきたいと思います。

事務局

短期入所生活介護が減っている理由としては、コロナ禍において施設への入退所に制限があったという事情があり、入所を敬遠した人が、サービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームに移ったということをお聞きしております。

コロナの感染状況が落ち着いた後も短期入所には戻らない方があったことは、一部原因にあると思います。

また、サービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームにつきまして、有料老人ホームの指定に関しては県で、サービス付き高齢者向け住宅の届出受付は本市の住宅課で行っておりますが、ともに計画はございません。よって、本計画は実績の掲載のみとなります。

委員

サービス付き高齢者向け住宅は管轄が厚生労働省ではなく、国土交通省ということで、国では目標数値があるようです。

山間部や限界集落の方々を、そういったところに収容して、ある意味地域包括ケアシステムのようなものを作ろうとしているのかもしれませんが、国交省の助成金や補助金または税制優遇の点から、介護事業とはまったく異なる分野から参入されるケースが多いため、今後も増加すると思いますが、見通しは非常に予測しづらいです。

委員

15 ページの介護予防のボランティアについて、用語解説が追加されましたが、これではまだ<協力できない>が減っていかないのではないかと思います。

36 ページを見れば自分が介護予防に関わっているかわかりやすいと思いますが、この用語解説の一例はどちらも体操系です。これだと指導という立場に限定して受け取られてしまうかもしれません。

もっとハードルを低くして関わりやすいことに気が付けるような見せ方をしてはどうかと思います。

事務局

ご指摘いただいたように、36 ページに表がございます。

## 会議録要旨

昨年度のアンケート調査時には、介護予防のボランティアに協力したいか、の質問の前に、36 ページにございます事業について知っているか、利用したいかを質問した上で、ボランティアとして関わりたいかをお尋ねしています。

にもかかわらず、協力できない、したいと思わないという方が多いということですので、それについては、少しでも積極的に関わっていただけるように働きかけることが今後重要であると思っております。

会 長

ボランティアに参加してもらえないような雰囲気ができないとなかなか難しいのかなと思います。共生の時代ですので、ボランティアへの参加は重要な課題だと思います。積極的な参加を促す強いメッセージを出していきたいと感じました。

委 員

事業所の中には、人手不足により十分な対応がとれないことを理由に、定員まで利用者を受け入れできない、断らざるを得ないことがあるという話を聞きます。

68 ページ①の人材確保の支援というところで、新たに介護職員として市内の訪問介護事業等に継続して 6 か月以上就労している市内在住の方に奨励金を交付するというのは、PR 効果として非常によいと思います。

それほど潤沢に予算があるわけではないと思いますが、少しでも人材確保のために PR をしていただけるとありがたいと思います。

こちらは、継続して毎年あるのか、短期的に 1 回のみなのか、教えていただきたいです。

事 務 局

こちらの就労奨励金はお 1 人につき 1 回限りとさせていただきます。

制度の周知に関しては、介護サービス事業者連絡会やホームページ等にて周知し利用していただけるように努めているところでございます。

事業としては、平成 30 年度から行っており、年間 4 件程度申請いただいております。

事 務 局

補足になりますが、介護保険事業のヘルパーと合わせて、障害福祉のヘルパーも人材が不足しており、一般の方や実績のない事業所にも制度の周知を行ったり、制度の利用者が増えるための見直しについても事業所の方のお知恵をいただきながら進めてまいりたいと思います。

会 議 録 要 旨

委 員

86 ページの看護小規模多機能型居宅介護について、小規模多機能型居宅介護に看護がついているということなんですが、利用は減少していることが見てとれます。先ほどの人材確保の話で、看護師の確保ができないところがあるのではないかと思うのですが、この事業をやっているのは市内で何か所くらいありますか。

事 務 局

3事業所です。

委 員

小規模多機能型居宅介護でも少ないと聞いていますが、看護が付くとさらに少ないのですね。ありがとうございます。

委 員

歯科医師の立場から、15 ページの介護予防の取組に関するアンケート結果について、「お口の健康づくり」が「その他」を除いて1番低く、あまり関心がないのかなと感じます。食べることは最後まで残されてくる機能なので、そのあたりはもう少しPRできたらなと思いました。

委 員

今後認知症の薬が出てきたときに、それを使うことによってどのくらい効果があったかのデータの蓄積や推移を見たいと思います。

委 員

かがやきクラブでは、フレイル予防として軽スポーツなどで健康寿命を伸ばそうと取り組んでいます。参加している人では大変元気な方がいる一方で、新たに参加される方が少ないことが課題です。

委 員

先ほどお話しがあったように、私たちも生きがいづくりのために、できるだけ外に出て、人に会うように働きかけています。

委 員

ヤングケアラーに対する支援をどういう形で協力していくのがよいのか考えています。ヤングケアラーに関する講演もやったこともありますが、情報がなかなか入ってこない中でどう掘り下げて、支援をするかを教えていただきたいと感じました。

事 務 局

ありがとうございます。

これまでのご意見で感じたのが、薬の効果やフレイル防止など、なかなか成果が出にくいものを分析することは行政の弱いところです。

ビッグデータやAIなどいろいろな情報がある中で、ヤングケアラーや引きこもりの情報というのは人との繋がりを見直しが大事なところかな

## 会 議 録 要 旨

と思っております。

そういったところで国の方も押し進めております重層的支援体制は、本市も令和6年度からの開始に向けて取り組んでおります。

福祉と医療の連携というのは、医師会、歯科医師会、薬剤師会のご協力で形ができてきましたが、もう一度地域と公的サービスとを繋げる形も見直し、アウトリーチをかけていくとか、かがやきクラブに参加されていない方のところからひきこもりの方を見つけていくとか、子供食堂の中からヤングケアラーの情報を拾っていくなど課題を見つけていきたいと考えております。

その折には自治会の力が不可欠でございますので、協力体制でお願いしたいと思っております。

会 長

ありがとうございます。

健康福祉部が全部やるわけにいかないと思いますが、中心になってぜひ横断的に政策を進めてもらえればと思います。

そのほか、特にご発言もないようですので、最後に、事務局からお願いいたします。

司 会

皆様、大変お疲れ様でした。本日、頂戴しましたご意見・ご提言を基に、今後、会長とご相談の上、計画素案を固めてまいりたいと思っておりますので、ご了承いただきますようお願いいたします。

次回、第4回の会議は、来年2月7日に開催させていただく予定でございます。事務局の説明にもございましたように、次回の会議では、来年度以降の介護サービス見込量をはじめ、介護サービス基盤整備計画や介護保険料についてお示しさせていただきます。引き続き、計画策定にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

それでは、これもちまして、本日の会議を終了させていただきます。皆様、誠にありがとうございました。